

「クラブを訪問して」

国際ローター第2640地区IM8組

ガバナー補佐 奥野 圭作 (堺北西ロータークラブ)



浅学菲才な私のような者にガバナー補佐が果たして務まるのかどうか？ずいぶん悩みましたが、これも何か与えられた試練と思ってお引き受けさせていただきました。

この様な私にもかかわらず訪問させて頂きました折には、各クラブの皆様方から心温かく迎えていただき本当に有難くうれしく思っております。心から厚くお礼申し上げます。

ロータリーの友情とはこの様なことなのだと思わせて頂きました。

堺東南RCの皆様のお気遣いのお言葉をお掛け頂き有難うございました。

さすが歴史あるクラブでございます。少数精鋭と申しますか、皆様方は筋金入りのロータリアンでいらっしゃる。各委員会の委員長を兼任されながらも立派にプログラムを消化されようとするお姿は何か気迫のようなものが感じられ感動すら覚えました。

増強につきましても初期の目的を達成されたと聞いております。

「NEVER GIVE UPの堺東南RC」の皆様方に栄あれ！

大いに勉強させて頂きました有難うございます。

堺清陵RCは堺で10番目に発足されて以来、数々の素晴らしい実績を残しておられます。その原点は清陵RCが培ってきた品位と緊張感のあるクラブ運営にあると思えました。

特に老人ホームに於いて、大阪府立盲学校の実習生による老人のマッサージ治療を続けておられる事、又鳳高校の生徒さんと協力した奉仕活動を展開しておられる事に、感銘を受けました。“Enjoy Rotary”というテーマを基に、会員の皆様方が、奉仕の中に楽しみを見つけ、ロータリーの素晴らしさに気付き、一致団結してロータリーの精神である、奉仕活動に取り組まれている姿はひとえに、木下会長の方針が会員皆様方に徹底して伝えられているのだと思ひ、感心をしております。

堺フェニックスRCは大変活力のあるクラブであります。創立10周年事業と云う大きな事業を実現するため、会員一丸となって、綿密に計画された内容を着実に行動されている姿は、力強ささえも感じさせていただきました。

特にIMのホスト役として“会員全員でIM8組をリードしていこう！”という気迫がヒシヒシと私たちにも伝わり実にご立派でありました。

又、地域社会の奉仕につきましても、「環濠クルーズSAKAI」に対して運行する船を寄贈していただき「まちおこし」に積極的に参加されたお姿が「NHK」で放映されて、私達ロータリアンの一員と

しても誠にうれしい出来事でありました。

堺中RCは坂尾会長の「癒しを率先しよう」をクラブのテーマに掲げられ、“皆で仲良くロータリーを楽しみましょう”を合言葉に頑張っておられます。又クラブ運営に於きましても6点の指針を明確に示され、各委員会でもこれをしっかり取り入れられ行動に移していただいている事に、大いに感心いたしました。

WCSに於きましても姉妹クラブであります台中西屯RC又、耽羅RCの訪問等で積極的にアプローチされようとしていることが特に印象的でありました。

大変堅実にクラブ運営されていると拝察させていただいております。

堺北西RCは私のホームクラブでありますので紙面で公表するのはいかがなものか？と思っておりますので、私がガバナー補佐として勉強させて頂きましたことをクラブに持ち帰り、しっかりと会員に伝えたいと思っております。そして担当させていただきました各クラブの素晴らしい面を手本として今後ホームクラブで頑張る所存でございます。

私のような者が生意気なことを申すようで恐縮ではございますが、総論として世界又は日本のパラダイムが大きく激変しつつある現在、ロータリー全体も社会から変革することを求められているような気がします。(このことは大幅会員減少等、様々なロータリーで起こる現象を見ても明らかです。)この意味に於きましても、三軒ガバナーが常に言っておられるように、細則を見直しながらのCLPへの移行は、それに対する有効な手段と考えます。そこでおもい起こすのが「**不易流行**」という言葉です。この解釈は色々あるようですが、私流に簡単に言いますと「**絶対に変わっては行けない事と変革を続けなければならない部分**がある。」ということです。私のホームクラブではこの言葉を噛み締めながらCLPに移行していきたいと思っております。

最後に三軒ガバナーの思いを十分に皆様方にお伝えできなかったこと、不行き届きな面多々ありましたことをお詫び申し上げるとともに、皆様方に於かれましては、今後もより一層の精進を重ねられ、ご発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

(RI第2640地区マンスリーレター・2007年4月号より)